

北海道知事 鈴木 直道 様

北海道老人福祉施設協議会

会長 瀬戸 雅 嗣



## 道内高齢者施設利用者及び従事者への3回目ワクチン優先接種等にかかる要望

現在、全国的に新型コロナウイルス感染者が減少傾向にあり、道内の高齢者施設でも感染防止策を実施した上で、面会制限の緩和や行事の段階的实施など、コロナ前の日常を少しずつ取り戻しつつあります。これは、高齢者施設利用者及び従事者への過去2回のワクチン優先接種をはじめとした国を挙げてのコロナ対策の結果だと感謝いたします。

一方、道内では先日、後志管内の高齢者施設においてブレイクスルー感染によりクラスターが発生しました。今後も同様の事例が発生する恐れもあり、これからの冬の感染再拡大を見据えた対策を引き続き実施していく必要があると考えます。

つきましては、施設を利用する高齢者が安心してサービスを受け、従事者がより安心してサービスを提供し続けることができるよう、以下の事項を要望します。

### 記

#### 1. 高齢者施設利用者及び従事者へ3回目ワクチンを優先的に接種してください。

高齢者施設は、抵抗力が弱く、新型コロナウイルスに感染した場合に重症化するリスクのある方々を対象に福祉サービスを提供しています。つきましては現在、国において進められております3回目の追加接種につきまして、高齢者施設利用者及び従事者へ優先的に接種していただきますよう要望します。

#### 2. 高齢者施設利用者及び従事者が定期的にPCR検査を受けられる体制を確保してください。

東京都高齢者福祉施設協議会が行った「新型コロナウイルスワクチン接種後の状況調査」によれば、都内高齢者施設で定期的に職員のPCR検査を実施している施設が81%、その内、週1回の頻度と回答した施設が67%でした。また、この状況下でブレイクスルー感染が13%発生しており、その内、中等症・重症の感染者が合わせて0.8%となっています。

このように、定期的にPCR検査を実施している状況下においても、一定程度のブレイクスルー感染が発生している現実を踏まえると、北海道においても高齢

者施設関係者が定期的に PCR 検査を受けられる体制を早急に確保することが必要であり、ことにより、ブレイクスルー感染等による感染拡大を最小限に抑えられると考えます。

つきましては、高齢者施設利用者及び従事者に定期的に PCR 検査を実施し、その費用を公費で負担するとともに、感染が確認された場合は、すみやかに医療機関や保健所との連携のもと、適切な医療支援が図られる体制を確保してください。

**【事務局】**

北海道社会福祉協議会 施設支援部 施設福祉課内

住所：〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目1番地 かでる2.7 3階

TEL：011-241-3766 FAX：011-280-3162